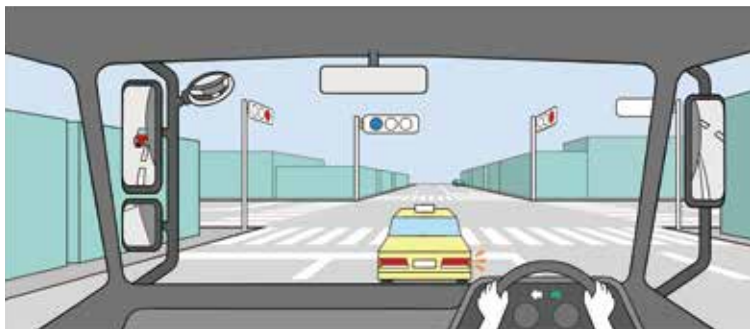


今月号からスタートする「危険予知トレーニング(KYT)」。事故を未然に防ぐためには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し、的確に回避することが必要です。予測される危険や、危険を避けるための運転について考えてください。



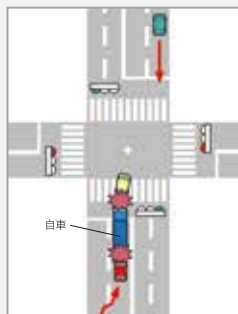
交通状況

- お客様から「品物を早く届けてほしい」といわれ、向かっているところです。
- 先行するタクシーに続いて、信号のある交差点で右折しようとしています。
- そろそろ信号が黄色に変わりそうです。
- あなたが追い抜いた車両が、車線変更して後続車となったことを認知しました。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

- A**
- 大型車は視点が高いため、直前車両の行動を見落としがちになります。
 - 信号の変わり目において、自分では行けると判断しても、先行車は停止する場合があります。追突する危険性があります。
 - 自車が急停車すると、前方の状況が見えない後続車が、自車に追突する可能性があります。
 - 急ぎの気持ちがあると、無理して右折をしたくなり、前車との追突や対向直進する車やバイクとの衝突の危険性があります。



このような運転を！

- A**
- 信号だけでなく先行車の動きに注意し、急停車することも予測して、速度を落とし車間距離を確保！
 - サイドミラーで後続車の動きに注意！
 - あせりは禁物！事故を起こすと、多くの人に迷惑をかけるので慎重な運転を！